

学校関係部会の取組

学校関係部会は、町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・愛知高等学校・愛知高等養護学校の全教職員で組織しています。本年度も、人権尊重の意識の高揚を図り、各校園の独自性と一貫性を生かした人権・同和教育の深化と広がりをもとめるとともに、学力向上・進路指導の充実拡充および、家族・地域ぐるみの人権・同和教育の充実と広がりをもとめる実践に取り組んでいます。

令和3年度の研修会紹介

〔活動方針〕

- ・教職員が人権に対する正しい理解と認識を身に付け、人権感覚を高め、人権問題を的確にとらえる技能や態度を身に付けるために各校・園の教職員研修の充実を図ります。
- ・子ども一人ひとりに人権問題を学ぶための基礎となる力や、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を培い、人権尊重の実践的態度を育成するために人権・同和教育の推進に努めます。



▲秦荘中学校人権ミュージカル鑑賞「あらしのよるに」

〔授業公開を通じた研修会〕

秦荘幼稚園、秦荘西小学校、愛知川東小学校、愛知中学校で、授業研究会を行いました。授業記録集にまとめ、今年度の足跡として残していきます。



▲秦荘幼稚園授業研究会 令和3年10月28日(木)

〔全員研修会〕

開催日時：8月25日(水) 13:00～14:45
15:00～16:45

開催場所：ハーティーセンター秦荘 大ホール

例年5月下旬に実施している転任・新任教職員現地研修会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度・令和3年度と2年続けて実施できませんでした。

そこで、今年度は8月に2年分の研修会を全員研修会と兼ねて実施することとしました。また、密を避けるため、前半は愛知川地域、後半は秦荘地域の校園の2部制で実施し、計82名が研修を受けました。

内容は、山川原地域総合センターの取り組みについて、所長の寺本秀史さんにご講演いただき、愛知川の太鼓づくりDVDを視聴しました。

また、山川原の歴史と太鼓づくりについて、社会教育指導員の松宮 幸彦さんにご講演いただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地研修は見送りましたが、山川原地域総合センターの取り組みや、山川原の歴史と太鼓づくりのご講演を通して、人権問題を的確にとらえる技能や態度を身につける機会となり、人権・同和教育の原点を見つめ直したひとときでした。



〔校・園別研修会〕

- ・愛荘町内の校・園別に子どもの実態や人権教育推進上の課題に沿った教職員の人権教育研修会を企画し実施しました。

今回は、『視覚障がいと盲導犬について』委員全員が研修をしましたので、その内容を紹介します。また、就任6年目となる町民児協の治武会長の一言を掲載します。

視覚障がい者の就労継続支援B型作業所

『滋賀アイステーション』の指導員と視覚障がいを持ち、盲導犬と生活を共にする利用者さんから話を聞きました。この施設は彦根市小泉町にあります。ここで視覚障がいをもつ人たちが靴下をリサイクルして編んだ座布団や点字用紙を使った手提げ袋、手作業で作られた組みひものストラップなどを作り販売しています。利用者さんをお手伝いするボランティアとして、わずかな時間でよいので、立ち寄ってほしいと呼びかけておられました。

「盲導犬はすごい」といっても盲導犬は主人の命令がなければ動くことができません。そのため、どこかに行こうと思ったら、主人は目的地までの地図をしっかりと頭に入れて指示することが必要です。指示されなくても盲導犬がすることは次の5つです。

- ① 道の曲がり角を教える
- ② 道の段差を教える
- ③ じっと待つ
- ④ 障害物を回避する
- ⑤ 道路の端に寄って歩く

確かに主人がマイクを持ち、講演を行っている間、じっと目を閉じて伏せていました。



盲導犬はリードではなく、ハーネスという胴輪をはめています。これをつけると盲導犬としての仕事が始まり、外すと休憩ということになるのです。そして、背負っているバッグはハーネスバッグといって盲導犬にとって大切なものが入っています。

また、盲導犬がかわいい服を着ているのにも訳がありました。犬の毛はよく抜けるので、迷惑をかけないために服を着ているのです。

最後に盲導犬に出会った時のお願いを話されました。

- ① 盲導犬に声をかけないで
- ② 食べ物を与えないで
- ③ さわらないで
- ④ 目をあわせないで

今回の研修を受けて「街角で盲導犬や白い杖をもつ人に出会ったら、声をかけて手を差し伸べる優しさで勇気を持とう」と思いました。



就任6年目を迎える治武民児協会長の一言

これまでの活動で感動し印象に残っていることは、民生委員制度が始まり、100年にわたり活動が展開されてきたことです。100周年記念全国大会は1万人体制で開催され、東京ビッグサイトでの大会に、天皇・皇后陛下ご臨席の中、参加させていただいたことです。

民生委員になって良かったことは、地域を知り住民の皆様とつながりができたことです。特に「いきいき見守り訪問」では、訪問を待っていただく方が多いと感じたこと、明るい挨拶でお話できたことです。お子様対象の「おたより見守り訪問」では、子ども達や保護者の皆様と親しくなれたことです。

今後民生委員になられる方へのメッセージとしては、これから更に進む高齢化に向け、地域の「サポート会議」を定着させ、地域全体で取り組む課題として、更なる活動をお願いしたいと考えています。